

2008年2月5日
株式会社日立製作所
執行役社長 古川 一夫
(コード番号:6501)
(上場取引所:東・大・名・福・札)

2008年3月期連結業績予想の修正について

株式会社日立製作所は、本日開催の取締役会において、下記の通り、2008年3月期の連結業績予想について、2007年10月31日の決算発表時に公表した予想を修正することにしましたので報告致します。

記

1. 2008年3月期連結業績予想について(2007年4月1日～2008年3月31日)

(単位:億円)

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	少数株主持分 控除前利益	当期純利益 (損失)
前回発表予想 (A)	105,000	2,900	3,000	1,300	400
今回発表予想 (B)	108,000	3,000	3,100	1,100	100
増減額 (B-A)	3,000	100	100	△200	△300
増減率	3%	3%	3%	△15%	△75%
(ご参考) 2007年3月期	102,479	1,825	2,023	395	△327

2. 2008年3月期連結部門別予想の変更について

(1) 部門別売上高

(単位:億円)

	前回見通し(A) (2007年10月31日公表)	今回見通し(B) (2008年2月5日公表)	偏差 ((B)-(A))
情報通信システム	24,900	26,400	1,500
電子デバイス	12,550	12,600	50
電力・産業システム	34,200	34,400	200
デジタルメディア・民生機器	15,300	15,300	0
高機能材料	18,500	18,500	0
物流及びサービス他	12,100	12,100	0
金融サービス	4,500	4,500	0
消去又は全社	△17,050	△15,800	1,250
合計	105,000	108,000	3,000

(2) 部門別営業利益(損失)

(単位:億円)

	前回見通し(A) (2007年10月31日公表)	今回見通し(B) (2008年2月5日公表)	偏差 ((B)-(A))
情報通信システム	830	970	140
電子デバイス	440	460	20
電力・産業システム	1,500	1,500	0
デジタルメディア・民生機器	△720	△980	△260
高機能材料	1,330	1,340	10
物流及びサービス他	190	190	0
金融サービス	220	220	0
消去又は全社	△890	△700	190
合計	2,900	3,000	100

3. 業績予想の修正理由

2008年3月期の業績については、情報通信システム部門、電力・産業システム部門、高機能材料部門等の伸長により、堅調に推移すると見込んでいますが、デジタルメディア・民生機器部門の薄型テレビ事業において、業績改善を加速する施策等を検討していることから、2007年10月31日に公表した業績予想を修正することになりました。

以 上

このニュースリリースにおける将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
